

令和6年度 第2回 大阪市立荻田小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立荻田小学校
校 園 長 名 原 直 樹

日 時		令和6年12月11日（水）	
場 所		大阪市立荻田小学校 会議室	
出席者	委員 など	吉田晴加（会長） 桑田裕子（委員） 鍛冶本七重（委員） 松下祥貴（委員） 松本光司（委員） 沖 明美（委員） 木下 勝（委員）	
	校 園	原 直樹（校長） 井関 繁（教頭）	
	区役所	教育文化課 森係長	
議 題		1 令和6年度「運営に関する計画」の中間評価について 2 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果について 3 その他	
協 議 要 旨		協議の結果	
		1	「運営に関する計画」の中間評価について説明した。
		2	本年度の「全国学力・学習状況調査」結果について説明した。
		3	意見交流を行った。
		意見の概要	
		○ 学習が好きと回答しながらも点数に結び付いていない気がする。「好き」という気持ちを大切にしながら取組内容や学習内容を進めてほしい。	
		○ プール改修工事の関係で運動場がせまくなってしまったが、体育の時間や休み時間における運動場の使い方のくふう、遊ぶ活動を増やす機会の設定等で、体力向上につながればよい。	
		○ 高学年の方がコミュニケーションを苦手とする児童が多いような気がする。コロナの影響もあるだろうが、いま進めている低学年からのペアトークやグループワーク等コミュニケーション力を上げる取組を続けていくことが大切。	
		○ 今年度から、保護者へのお知らせ等を、紙面による配付からメール配信へと変更している。見たいときに確認したり、働き方改革には有効だったりするだろうが、年間、あるいは一定期間確認する必要があるものは紙媒体の物と並行していただけるとありがたい。	
		○ 防犯・防災については、実際に起きたら、訓練のように動けるか不安。地域との連携の大切さをあらためて認識した。できないことに目を向けてしまいがちだが、できることを増やしていきたい。	
		○ 学習面や児童間でのトラブル等、課題もあるだろうが、おとながあきらめたら終わり。学校、保護者、地域が連携しながら子どもたちのために取り組んでいきたい。	
協 議 資 料		○令和6年度「運営に関する計画」 中間評価 ○令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果	
備 考		傍聴者[0]名	